

今週の3句！ ～『川柳展望』最新号から、毎週3句を紹介します。～

令和6年10月27日～令和7年1月26日 『川柳展望』199号より

ドングリがあれば街には来ない熊
孫を持つなら迷うことなくちびまるこ
コールセンター生身の人に行き着けぬ

田沢恒坊
高瀬霜石
土屋天九

千円の食パン一度だけでいい
薬屋の店主信じて飲むサプリ
いでたちですすでに差がつく溝掃除

永井天晴
西原 玉
橋倉久美子

すぐ側に交番のある安堵感
焼き肉を食べなくなって老いていく
鬼ごっこそんな遊びは知らない子

藤井幸子
三村 舞
宮本信吉

アヒルの子ついにアヒルのまま終わる
好きな人からもらった風邪が治らない
肉飾るプラスチックの菊は無駄

戴 けいこ
鎌田京子
大嶋千寿子

難しくて読めぬせっかくの石碑
転んだらすこし休んでから起きる
「アホやなあ」と思う他人の千鳥足

大橋啓子
小倉慶司郎
梶井良治

やり残したくさんあるが今日は寝る
スキップをすとしそうな肉離れ
鷹揚を装うことも難しい

春日綾乃
清水一笑
新家完司

塗りたたと書いてあるから触れて見る
戦死者の墓石つづく村の墓地
簡単に見つかりそうにない仇

すずき善作
佐藤岳俊
吉崎柳歩

「この辺り」とナビに言われた後迷う
痛い痛い飛んで行けには愛がある
アメリカは二回も押した核ボタン

梶井良治
きとうこみつ
藤井宏造

似ればよいと言うものでない肖像画
帰る客社交辞令で引き止める
避けられず雑草にまで水を撒く

佐道 正
玉木りょうこ
北田のりこ

この色でほんと良かった青い空
楽しそうに仕事している吉田類
よじれたら元に戻せぬ湿布薬

塚原羊雲
小野教彦
嘉山和美

百円玉拾った溝をつい覗く
短縮語何をそんなに急ぐのか
呆けてないふりをするのに苦勞する

中村 和
大濱素子
秋貞敏子

早朝から小判売ってるテレショップ
食べたいものないか冷蔵庫をのぞく
蜘蛛の巣にたまたま捕まることある

宮村順子
森下よりこ
中村富久子

真実が出るとは限らない寝言
お薬を清く正しく飲める白湯
新米が出たので古くなった米

毛利由美
西山竹里
天根夢草